



# 青山キャンパス 2025年8月オープン。 「未来の学校」は、 もう、ここにある。



テクノロジーが学びの可能性を広げる。

日本トップクラスのICT環境が、探究学習や個別最適学習、英語学習や世界の人とのつながりをサポートします。



先進的な教室と、世界をめざす運動施設。

全館空調と自由にレイアウトを変えられる教室、テニスコートや体育館が、新しい文武両道の舞台です。



複数の学校が集まって、ひろがる視野。

学校の垣根を越えて交流し、学習に取り組むことで、新たな視点やアイデアを共有でき、学びの幅が広がります。

広尾中学校・松濤中学校

生徒会役員にお話を伺いました！

みなさんこんにちは。広尾中学校の生徒会長です。広尾中の生徒会本部の目標には「広尾中コミュニティ」という言葉が入っています。この言葉は「地域コミュニティ」を由来とし、さまざまな人の意見を聞き入れてよりよい学校にしたいという願いを込めて取り入れました。この目標通り、私たち生徒会本部は皆さんに明るく楽しい学校生活を送ってほしいと思い、活動しています。青山キャンパスに移動した後も、松濤中の皆さんと協力して、より良い学校にしたいと考えています。よろしくお願いします。



広尾中学校 生徒会長



松濤中学校 生徒会長

みなさんこんにちは。松濤中学校の生徒会長です。松濤中学校は公立の中学校でありながら、英語重点校として日々英語を使って活動しています。松濤中には複数のALTがいます。ALTとは朝から英語で活動をするモーニングレッスンという時間があったり、休み時間にも気軽に話しかけることができます。学校生活で常に英語に触れることで、英語への興味が深まり、英検も合格することができました。来年度から始まる青山キャンパスでの生活では、松濤中の伝統を引き継ぐとともにこれまでになかった学校の枠を超えて、広尾中学校と協力しながら全力で活動して参ります。よろしくお願いします。



広尾中学校の生徒会の取組

- ・運動会での生徒会種目(綱引き)の運営。
- ・新入生歓迎会の主催。
- ・3日間の服装自由登校の企画。
- ・意見箱の設置。
- ・SNSの使い方について、広尾中内でのルール決定。



松濤中学校の生徒会の取組

- ・生徒会朝礼での英語の司会。
- ・月に一度、松ぼっくり新聞(生徒会新聞)の発行。
- ・ペットボトルキャップを72kg回収。その後、寄付し、世界の子供たちのワクチンとなる。
- ・期間限定で昼休みの体育館開放の計画・実施。
- ・体育着の着用方法について検討し、生徒総会にて新たなルールを決定。

# 青山キャンパスで 実現したいこと

voice  
01 他学年の生徒同士の縦の繋がりを生むような交流ができたらよいと思います。



広尾中学校 2年 松濤中学校 2年

voice  
02 体育祭、文化祭、合唱コンクールなど両校で合同のイベントを計画したいです。



広尾中学校 2年 松濤中学校 1年

## 生徒会交流の様子

voice  
03 新しい校舎に皆が慣れることができるような企画を考えていきたいです。



広尾中学校 1年 松濤中学校 1年

voice  
04 青山キャンパスの特徴を活かして、これまでの生徒会での企画を引き継いでいきたいです。



松濤中学校 2年 広尾中学校 1年

voice  
05 校舎は変わるけれど、旧校舎の歴史や思い出を大切に過ごしていきたいです。



広尾中学校 1年 松濤中学校 1年

広尾中学校・松濤中学校

校長からのメッセージ

## 青山キャンパスを 楽しもう！

広尾中学校 川上 弘文 校長

本校は、「Advance toward the 80th anniversary」  
として、青山キャンパスへの移転を含め80周年に向けて  
進み続けています。また、教育目標は「自らの頭で考える生徒」、  
「自分の人生をデザインできる生徒」、「変革  
やチャレンジをし続ける生徒」の育成としており、現在  
行っている探究「シブヤ未来科」とマッチしています。さら  
に、「都市型中高連携教育校」として、隣接する都立  
広尾高校と定期的に交流し、広尾中学校ならではの広  
尾高校への連携入試も実施しています。

学校の規模は大きくありませんが、その分生徒と先  
生の距離が近く、運動会前は生徒・先生全員で円陣を  
組み、行事を成功させました。青山キャンパスでは、松  
濤中学校と同じ校舎になることで、生徒会、委員会等の  
合同企画等も次々とできそうに新たな旋風を渋谷の中  
学校に起こしたいです。現在小学生の皆さんもぜひ広  
尾中学校に入学して、青山キャンパスを思いっきり楽し  
みましょう。

## Join the life at Aoyama Campus!

松濤中学校 中村 哲也 校長

本校は創立後70数年にわたり、時代をリードし社会  
の変化に応じた教育が展開され、地域に愛されなが  
ら温かい教育が行われてきました。これまでの伝統を  
受け継ぎ、本校の教育目標である「自律」「尊重」「創  
造」を大切に、教育活動を進めています。また、渋谷区  
英語教育重点校として、国際化・グローバル化に対応  
できる資質・能力を育成します。そして、一人ひとりの  
“ちがひ”が生きる探究の推進を行います。

そして、来年度には「青山キャンパス」という新たな  
フィールドができ、広尾中学校と本校の生徒が一緒に  
生活することになり、今までできなかったような新しい  
取組が可能になります。様々なコラボレーションが生  
み出されることを楽しみにしています。教職員は、生徒  
が主体的に学習や行事等に取り組めるよう、生徒を信  
じ支えます。この新しい環境で、新しいことにチャレ  
ンジしたい皆さんがたくさん集まってくれることを願っ  
ています。

対談

広尾中学校 川上校長

松濤中学校 中村校長

— 青山キャンパスで新たに挑戦したいこと、期待していることはありますか？

**川上:** 青山キャンパスには、ラーニング・コモンズと呼ばれる新しい形の共有空間ができます。この空間を活用して、個人での探究や友達同士での協働学習など、より柔軟で自由な学習を実現していきたいです。授業だけでなく、クラスを越えた話し合い活動の場にもなると期待しています。

**中村:** 教科に関わらず、色々な使い方ができそうですね。今までの教員主導の教育ではない、子どもの主体的な学びを促すのがラーニング・コモンズ。子どもが自ら持っている力を信じ、教員は伴走者となる。そんな新しい学びを実現していきたいです。

**川上:** 両校がお互いの取組を発表しあう機会も設けたいですね。合唱コンクールの成果を発表し合ったり、探究での学びを2~3人で発表し合ったり。

**中村:** 確かに今までの学校では、自分の学校の外に向けて発信する機会が足りていないかもしれません。これからの時代は、自分が身に付けたものを、外に発信していく力が必要になると思います。そのための試行錯誤を、2つの学校同士でできる場面を増やせたらいいですね。

**川上:** あと、2つの学校が一つの校舎に入ること、教員がお互いの授業を見合うことができる。これは私を含めて、教員みんなが勉強になりますので、楽しみにしているところです。

**中村:** 2つの学校のもともとの良さがあって、そ

れらを共に体験し合えるのは大きな変化ですね。

— 同じ校舎で、学校ごとに行うところと、一緒に行うところについて教えてください。

**川上:** 青山キャンパスに入っても、松濤中と広尾中は、それぞれの学校で、それぞれの良さがあることには変わりはありません。

**中村:** 入学式と卒業式は別々に行います。時間割も別々ですが、同じ校舎ですので、始業時間や下校時間、部活動時間は両校で合わせていきます。それと、給食のメニューが一緒になりますね。また、午後の探究学習は両校同じ時間帯で行うことになりますので、お招きする外部講師の話も合同で聞く、といったこともできそうです。

**川上:** そうですね。探究学習の授業では、普段お話を聞くことがないスペシャルゲストに来ていただくことがあるでしょう。そういう時に両校で誘い合って、一緒にできたりするのは楽しみです。ほかには、生徒会活動や各種委員会の交流を考えています。その交流によって、両校の活動の良いところをお互いに取り入れていたり、合同のイベントを企画していけそうなので楽しみです。

**中村:** 先日行った両校の生徒会役員の顔合わせ。生徒たちはお互いワクワク・ドキドキしながら青山キャンパスでどんなことができるのかを話し合い、様々なアイデアが出てきましたよね。今までの生徒会の取組は学校によって全く異なっ

ていたんで、今後も両校が混ざることによって新しい風を吹かせてほしいなと思います。

**川上:** 令和8年度には神南小も合流するので、横の繋がりに加え、縦の繋がりが増えて、さまざまな体験にさらに広がり期待できると思います。

— 最後に、青山キャンパスに入る生徒や保護者の方に向けてメッセージをお願いします。

**川上:** 広尾中は少人数だからこそ、生徒も教員も距離が近く一体感があり、学年を越えて面見が良いのが長所です。遠慮なく学校見学にも来ていただき、安心して青山キャンパスでも楽しく過ごしてもらいたいと思います。

**中村:** 松濤中は学区内の小学校が神南小学校の1校のみということもあり、昔から地域の見守りや地域に育てられているという意識が学校に根付いているところに良さがあります。今後は、2つの学校が一緒の校舎になることで、単純に大人の数が増えます。いろんなところに大人の目が届く、安心安全な学校にしていきますので、不安がらずに青山キャンパスという新しい学び舎を楽しみにしてほしいと思います。生徒の皆さんに会うのを楽しみにしています。

**川上:** 私も松濤中の生徒に会うのが楽しみです！

**中村:** 私も広尾中の生徒に会うのを楽しみにしています！



私たちが  
青山キャンパスを盛り上げます!

# 「未来の学校」

プロジェクト着々と進行中!